

る。(藤田)

雜報

○富山地學會第一回特別例會

富山地學會に於ては臨水博士の魚津漁港埋没化石林調査來縣を機とし、主として化石林に關する地學的研究の發表會を五月六日富山高學校に開催して次の講演が行はれ盛會を告げた。

山家基治君 魚津海岸地帯の歴史的變遷に就いて

今村外治君 富山縣東部の地質素描

原田清君 片貝川扇狀地の地形

市川渡君 神通及常願寺川の地形に關する二三の問題

中村慶三郎君 北陸線藤波の地亡に就いて

宮崎健三君 伏木附近の海岸段丘

石井逸太郎君 埋没及溺没樹根の分布と富山縣海底地形

望月勝海君 能登半島の東海岸地形

脇水先生 御講評

○高知縣佐古村龍ヶ鍾乳洞

佐古龍ヶ洞は高知縣香美郡佐古村逆川にあり、昭和六年六月山内浩氏に依りて、洞内の探検がなされた。現在高知縣指定天然記念物に指定されてゐる。今日調査されてゐるのは東半部にして未だ充分探検されてゐない。探勝路は三寶山の山腹に初まり頂上近くに出口がある。その延長は千米と云はれ、此を通過するには一—二

時間を要す。



鐘乳洞龍ヶ洞内の土器
(土器の表面は石灰岩質にて被覆されて居る。—中央—)

洞内には清澄なる清水が流れ、水量の多い季節には大小の瀧を作る。瀧はその數十三、最大なるものは高さ八米、音無し。瀧・裏見の瀧・玉簾の瀧等は著名である。鐘乳石・石柱・石筍は奇形をなしてゐる。又洞内には廣場があつて彌生式器二十八個餘り發見され、尙獸骨・貝殻等も發見されてゐる。

本鐘乳洞は鳥の巢石灰岩中に生成したもので、佐古村逆川に面した三寶山には石灰岩の大露出がある。(京大探鐘學教室 佐野孝雄報)

○重慶へ溯航する汽船

上海戦争後荷物も減少した上に政局不安のため揚子江の各汽船は何れも打撃をうけたが、

日清汽船は其被害最も多く、重慶へ溯る雲陽・宜昌・長陽・嘉陵・陪陵の五隻は昨年九月十八日の事變以後いづれも缺航して回國したが、最近に營業をはじめらしい、日本のこの航路の外に重慶に達する外船は四社であるが、いづれも小さい、

一、英國大古公司はもと八隻を有してゐたが現在は増水期に萬流一隻、減水期に金堂一隻あつて、上海へ直航してゐる。この外に綏定が開航するとしても僅に三隻しか溯航しない。

二、英商怡和公司はもと三隻であつたが、現在増水期には嘉和一隻、減水期には新昌一隻上海へ直航する。

三、米商捷江公司是六隻の船を有つてゐたが現在は増水期には宜昌一隻、減水期には宜平、箕平、箕春の三隻が働いてゐる。

四、日佛商聚福公司はもと三隻を有したが現在は増水期に福源一隻、減水期に福同一隻を用ひてゐる、いづれも就役の舟は少い、貨物が激減した結果である、この他支那側の汽船會社は多くは破産したが

一、招商分局は増水期に峨嵋一隻を動かすのみ、しかも去年七月陪州鄭都間で坐礁遭難したまゝであつて今年増水期に離礁したらば上海へ行つて修繕をする筈である。

二、三北公司に富陽と吳興の二隻があるが、吳興も遭難して動かない、營業停止して一年になる。

三、永慶公司是永游一隻を有するが一昨年失敗して目下伊太利人と合併してやつてゐる。

四、民生公司是上下航とも二十三隻の汽船を有してゐるが宜昌上海間に三隻、宜昌重慶間に三隻を働かし重慶叙州の間はジャンクで代用する。

五、植光公司是老蜀通一隻であり、六、紹興輪船公司是蜀都一隻を有し重慶叙州間を駛走する、七、益華輪船公司是益州以下三隻の小船を有しこれらも亦重慶叙州間を駛走してゐるいづれにしても長江一帯は本年も亦航運は發達しないであらう。

○白耳義領「パンゴ」の現状

面積二、三四〇、〇〇〇平方籽で白國の約八十倍に達する、國境は南西に蘭領アンゴラがある以外殆ど全部が英と佛の植民地であり、僅に西方に於てコンゴ右岸に幅三十七籽の狭い海岸線がある、土人の人口は約一千万、民族はビグミー、バンツー及ソングナイスの三族で白人の數は一九三二年に二萬二千五百人に達しないが内一萬五千餘がベルギー人であり首府をレオポルトヴィルに置いてゐる。

統治の根本法は一九〇八年十月の植民憲章であつて、本國とは別個の人格を有し、別個の法律で統べられる、本國に公果植民地中央政廳があり、コンゴに地方政廳がある、白國王は植民委員會の諮詢をへて勅令を制定する方法で、立法權を行使する勅令は植民大臣の提案であつて、諮詢會の議をへる、但緊急の場合は此限でないけれども公布の日より十日

後に審議に附することゝなつてゐる、植民委員會は公果議會の萌芽とも見るべきもの、植民大臣を議長として十四名より成立、内八名は國王の任命、三名は上院から、三名は下院から選出され一切の問題を審議する、植民省は政務・土人教育・財務・經濟商工・農務・衛生の各局の外にオフィスコロニアルといふ情報機關がある、地方政廳には公果總督がゐて國王を代表する。

國を四省にわかち十六縣百二十郡及土人區に分つ、長官は副總督・知事・郡長・町村長(土人)であつたが、一九三三年から六省に改め副總督の名を廢し、省長官(コミサリー)とした、財政は歳出七億二千五百萬法、歳入三億五千七百萬法で三億六千八百萬法の不足であるために白國議會は三年間毎年一億八千萬法の補助をしてゐるが猶不足の赤字がある、其他に負債が多い、その合計六十億四千萬法に達するから政府の財政は困難であり、中に英國借款六億三千萬法に上つてゐる。

交通は公果河口に達して同河を溯る、アントワープ出帆の船は三週間後にバナ、ボマ及マタデイの海港につく、しかし南領アンゴラのロビト港につけば鐵道でカタंगाまで入れる、ケープタウンからは同じく鐵道でローデシヤをへてエリサベスヴィルに達せらるゝが英國サンプトンから二十三日を要するといふ。印度洋側のモザンビクのベイラから入るところに多くの鐵道があつてコンゴに通じてゐる、ダルエスサラムから鐵路タンガニイカに至り、それから公果のキヴ地

方に入る途もある、モンバサからケンヤ鐵道をとればキスム(ポルトフロンズ)まで達せられる、又紅海岸のポルトスーダンから鐵道と河と自動車で北東コンゴに達する外地中海埃及の港から、カイロ・カルツームをへてユバに至り自動車と同じく北東コンゴのアバに達し得られる。

航空路としては英國の王立航空路は毎週ロンドン・パリ・ケープタウンの航空輸送をしてゐる、ナイルの谷を溯つて、ワデハルファ・カルツーム・ユバ・カムバラに向ふ東部公果を目的地とする旅客に利用される、一九三二年四月、白耳義國王は之によつて公果に行かれた、コンゴ側にはカタंगा航空俱樂部がエリサベスヴィルから、ブロークンヒル(ローデシヤ)に至る航空連絡を行つてゐるから、ブラッセル發の手紙は十日後にエリサベスヴィルに達する。

公果内部の交通はコンゴの舟行、道路及汽車と飛行機がある、水路に瀧が多いから、さうした場所に限つて道や鐵道があるのである。しかし河川の可航路及エドアル。アルベール・モエロ。キヴエ。タンガニカ等の湖上汽船も多く汽船百五十隻、一萬八千噸に上り、各種船舶五萬二千噸といふ、鐵道はマタヂとレオポルドヴィル間四百軒は一八九八年に出来た。ケープタウン線はブカマ驛まで七百軒も入つてゐる、ブカマからカサイ地方フランクイ驛まで千二百三十軒も完成し目下之を首府に延長中であり、アンゴラから入るカタंगा鐵道は全長二千軒に達し、コンゴ領土で五百二十二軒である、

東部國境湖水地方にも各湖の間に鐵道が出来て印度洋へ容易に出られる、猶航空路の着陸場は約二百もあるから、一昔以前に比べてコンゴは生れ變つた國になつた、主要輸入品は採集織物・巻烟草・靴・リキニール(英)金物・硝子品・ビール・農具(獨逸)洋酒・香水・鐘詰・自動車・トラック(佛)自動車・トラック・自動自転車(米)小間物類であつて、主要輸出品は銅・椰子油・棉花・珈琲・砂糖・ウラニウム・コ、ア、ゴム・獸皮・金・寶石・錫・コバル等原料品で輸出入夫々六億八千萬法、六億法に達する、日本から七百萬法の輸入があつて、白・佛・英・米・獨等が上位をしめ我國は第十一位である、歳入不足に見るやうに地方財政困難であり土人の窮乏甚しく、白人の半數は常領より引揚ぐる有様であつて、財界の景氣は悲觀される、植民大臣が本國の政争の渦中に入るために、どうも統治がよくは行はれないらしい、白耳義には此外にルアンダ・ウルンデ委任統治地域がある、舊獨領東アフリカの一部で大戦後ベルギーに委任された土地で五萬五千平方呎、本國の二倍に達し人口三百五十萬内白人約一千人がある、首府はウサンブラで知事がある、牧畜を主要産業とし、珈琲・烟草・カボク・棉花・甘蔗等が發達しかけてゐる、日本との取引も相當に發達してゐる、この方は印度洋からモンバサ經由でゆける湖水地方なのである。

○日本の經濟的發展に關しジュネーブのガゼットロトランスに日本の經濟侵略を述べて曰く、日本の今日は従前と

異り、世界市場に於て人絹綿布の如き特種商品の壓倒的輸出國たるのみならず、機械・鐵製品・鋼製品・アルミニウム製品・陶器・玩具・電球・板紙・紙・麥酒・靴・時計等換言すれば一切の商品を競争不可能なるが如き廉價にて世界市場に供給し居る有様となれり、日本は一九一三年三萬ヘクトリツトルの麥酒を輸出せるが一九二九年に七萬ヘクトリツトルとなり、世界恐慌後の増加率は八五%である、綿糸は鍾數九百萬、織機數三十五萬にて一九〇〇年に九倍し生糸は繰業中の釜數四十萬、佛蘭西の夫を百倍にして三千萬疋の生糸を輸出し、人絹は一九二三年の生産高三十五萬疋より一九三三年には四千萬疋に増加し、白熱燈の輸出は一九二五年より一九二九年の間に二〇〇%、一九二九年より一九三三年の間に二〇〇%の増加を示し、一九三三年には更に躍進して其價格は四年間に五九%の低下を見せた。

更に數種の商品價格を例示すれば四ランブ付ラヂオ受信機神戸渡二十八法、自転車アングヴェルス渡三十五法、テニス靴五五仙、木綿靴下一ダス二法、時計類一疋三十六法といふ程の安値である、日本大藏省の發表によれば、日本の輸出は一九三二年度に於て前年よりも二三%増加した、入超は七千三百萬圓、五二%の減少であるが、一九三三年は事態更に改善されてゐるであらう。

日本經濟的發展の原因を考ふるに一は勞銀の低廉、一は爲替ダンピングである、日本勞働者の平均賃銀は一日九時間乃

至十時間の勞働に對し、男工一圓五十錢乃至二圓、女工七十錢乃至一圓である、かゝる低廉の賃金でも日本人は勤勉であつて貯金をする日本の郵便貯金は一九二四年の十一億圓より一九三二年圓爲替下落以前に二十八億圓に達した、日本の人口が毎年百萬人づゝ増加するに拘はらず見らるゝ現象であることは吾人の注意をすべき要點である、今日の圓價は平價の四〇%下落してゐる、従つて日本の輸出業者が廉價に物品を賣捌く理由がわかる、しかも日本産業の全體が二十程の眷族の手中に掌握されて居ることを知る時、吾人は日本産業の成功の由來する所を更に容易に了解し得られる、世界各國の生産業者は前記日本商品の進出に對し有効なる保護措置をとることを政府に要求し、既に從價税で禁止的の關稅をかけるか、又は日本と相互協定の上にマンタンジャンを制定するやうになつた、瑞西と日本との如き間にてはこの問題は容易に解決が出来るけれども、他の大生産國にとりては問題は容易に解決しないであらう、結局は世界市場に於ける市價競争より脱却は出来ない筈である。

右はジュネーブの新聞の論調である、他山の石として參考すべきであらうと思ふ。

○日英間の競争 日英競争に關し保守黨議員モリス氏の辯駁意見は穩當であるから茲に之を掲げる、ランカシアの綿業不振から日本品のダンピングを目して英國工業の重大事となし政府に對する種々の要求が出た。

一、一九一一年の日英通商條約の廢棄

二、英國の通商條約全部(ロシア以外四十五ヶ國)中の最惠國條款の廢止

三、英國植民地への日本品輸入禁止

四、英國品に對する印度關稅を歲入關稅程度に輕減し外國品に對する印度關稅を引上げる。

かうした各種の意見の中、第一、第二はランカシアのみならず英國全體の最善の利益に害がある、第三の提案は實行不能であり、第四は印度の財政を英本國より命令せんと試みることで、之を諷刺するだけでも、印度た於て多大の面倒を惹起する、もし英國が一九一一年の日英通商條約を廢棄したらば結局英國は如何するのか、日本の統計で一九三二年の英國の對日貿易輸出超過百八十二萬二千磅あるが、之を喪失してもよいか、該條約廢棄の結果日本向ブリキの好市場を喪失せば南部スコットランドの住民は何といふべきか、諸自治領で該條約に加入してゐる濠洲やカナダは英本國と共に廢棄を希望してゐると思ふか、一九三二年に濠洲は九百七十三萬八千磅、カナダは三百九萬四千磅の各對日輸出超過であつたではないか、もし英本國が條約を廢棄しても兩自治領が廢棄を欲せない時は英國の一致は如何するか、一九三二年英國の對日貿易は約三百五十萬磅の輸出超過であつたが、かうした結果は英帝國內諸國の英國品に對する購買力を増進するものであるから英國としては長期間に受益してゐるのである。

第二の提案は容易でない、この提案は反面に英國の失ふ所を全然知らない又一外國と通商協定を満足に締結することが如何に面倒なかを知らない人の言である、獨逸と佛國との新通商條約は二ヶ年を要した、最惠國條款を廢棄して後首尾よく四十五の新條約を結ぶのに幾年を要すべきや、又之を廢した後の過渡期に世界の貿易界に如何なることが勃發すべきや、國際貿易の現狀は幾多の制限があつて安定してゐないけれども、條約廢棄後の無政府狀態に比較せば猶樂園であるといへる、第三の提案即英國植民地への日本品の輸入全禁については戰爭行爲といはないまでも、日英の關係をよくするものではない、右提案をなす人は少しく調査して西阿植民地に關して學ぶ所が多いであらう、第四の提案も亦不合理ではないか、それはオッタワ協定にも背くからであつて、オッタワ協定では完全に印度の自治を認めてゐるではないか。

いづれにしてもランカシャのみの利益で全英國の利益を害することは之を避けねばならないと考へるといふのである、英國内ではかやうに論じられる丈け、それ丈け日英の世界競争は今や眞劍に考へられねばならなくなつてきたのである。

○ルーマニヤ國の石油 一九三三年羅馬尼亞國の石油産額は概算七百三十四萬噸で、前年の七三五萬噸に近い、一九

三二年十二月の巴里石油協定で一月の生産高を一萬八千五百噸に制限したこと、相場下落を恐れて自ら生産制限を加へたため、一九三二年に約二萬米突からの擁護を増加したにも不拘、産額は前年並にとどめた、新に掘鑿された鐵區油層は一般に頗る深くボルデステイの鐵區は地下二千五百米にして油層に達すといはれる位である。

一九三三年に精油の爲に使用された原油量は全體七百三十四萬噸であつた、その生産油は八割まで對外輸出向で二割が國內消費となつた、しかし其結果は國家經濟に多くの利を齎さなかつた租税の過重と鐵道運賃が高價な爲であると稱される、例へば一九三三年のベンジン相場は精油所渡で一噸につき四百九十八レイ(一レイは三錢三厘)と二千九十八レイとの間に上下したが租税を含む場合には九千二百レイ乃至一萬百二十レイとなつた燈用石油の消費は人口一人當八担半で、羅國から石油を輸入してゐる國よりも少い、政府は同年、國內消費税として二十三億四千百萬レイの收入を得たにも拘はらず、國內消費の爲に使用された石油價格は僅に六億七千七百萬レイに過ぎなかつたのである、同國の石油は歐洲の外埃及や英領印度へ新販路を獲得したといふことである。